

# 財団法人 操風会 岡山旭東病院 概要

脳・神経・運動器疾患の総合的専門病院

脳神経外科・神経内科・整形外科・内科・循環器科  
リハビリテーション科・麻酔科・放射線科・形成外科  
サイバーナイフセンター・脳卒中センター、PET・RIセンター



## 病床数

162床  
(一般 138床、亜急性期16床、ICU8床)

## 職員数

501名(医師34名、非常勤25名)  
うち常勤職員434名

## 平均在院日数

15.0日(2012年)

診療情報管理士8名

診療情報管理室 3名  
入院会計担当 3名  
医師事務作業補助者 1名  
健康管理室 1名

## 紹介率(逆紹介率)

42.7%(66.3%)(2012年)



## 施設

地域医療支援病院  
DPC対象病院  
7:1入院基本料  
臨床研修病院(協力型)

## その他

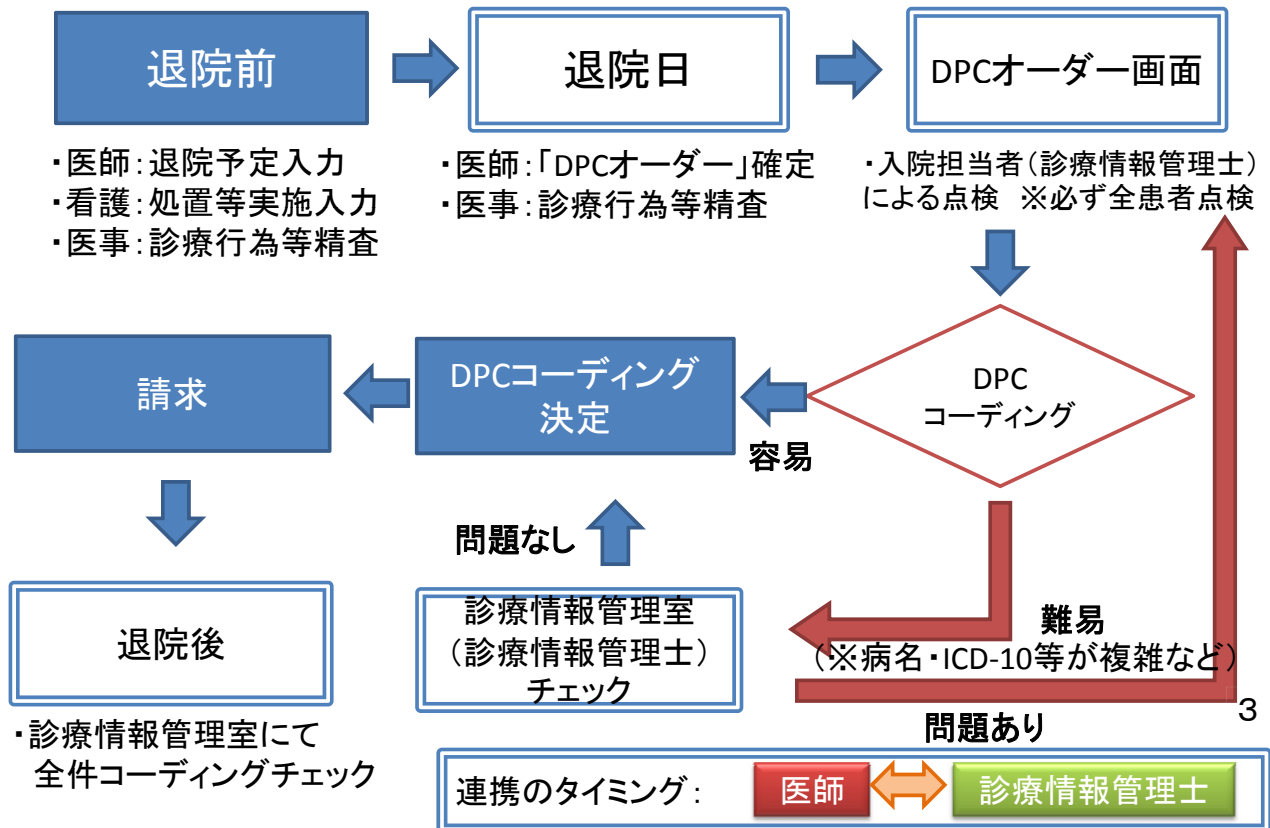
日本医療機能評価機構(ver.6)(2011年1月)  
ISO14001取得(2003年10月)更新(2006年) 1  
プライバシーマーク取得(2007年)  
くるみんマーク取得(2010年)



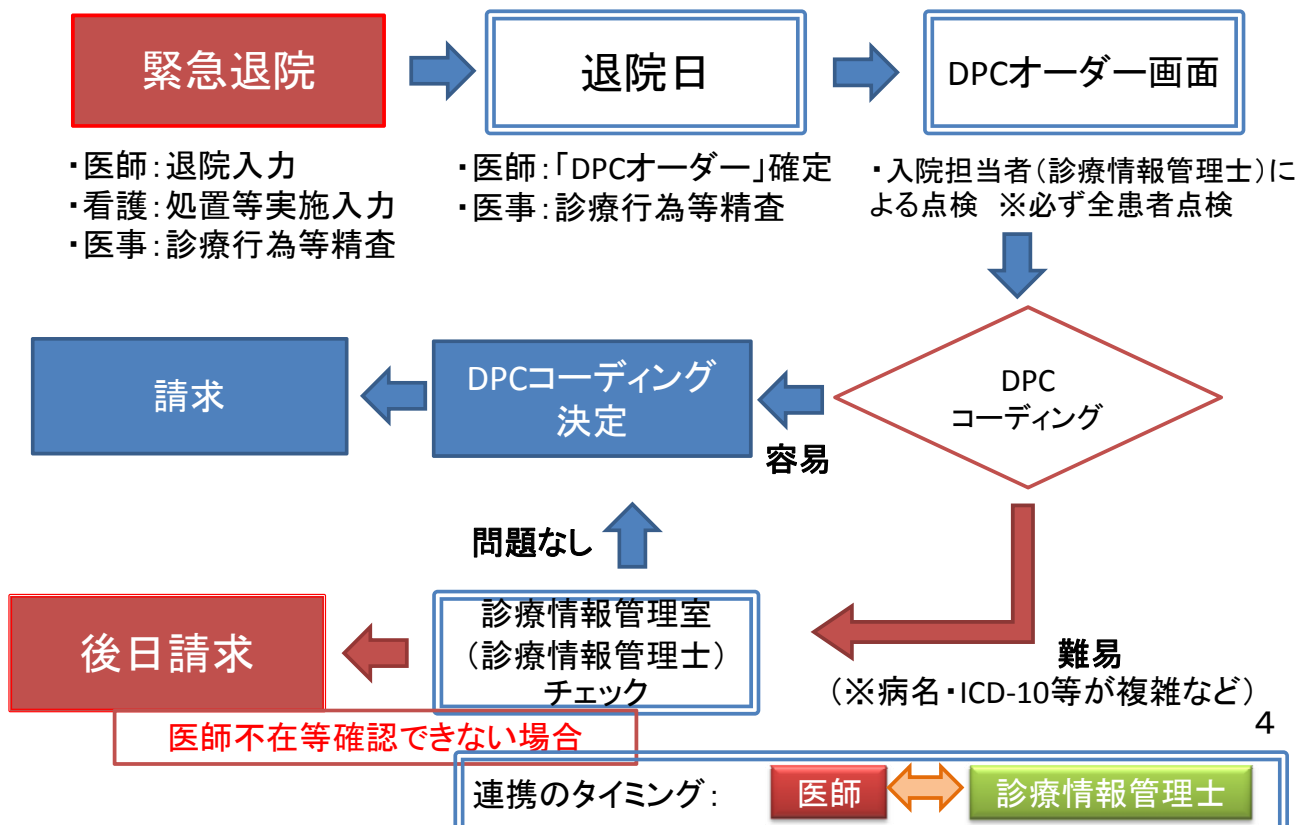
## 項 目

- 1) DPC/PDPSのコーディング手順について
- 2) コーディングに係る事務部門の体制
- 3) 適切なコーディングに関する委員会について
- 4) コーディングマニュアル案に対する意見
- 5) その他(日常的に困っていることなど)

# DPCコーディング業務の流れ



# DPCコーディング業務の流れ②



# 項目

- 1) DPC/PDPSのコーディング手順について
- 2) コーディングに係る事務部門の体制
- 3) 適切なコーディングに関する委員会について
- 4) コーディングマニュアル案に対する意見
- 5) その他(日常的に困っていることなど)

5

## コーディングに係る部門の体制

部署	職員数	常勤及び専従数	うち診療情報管理士数
診療情報管理室	3人	3人	3人
医療秘書課(入院担当)	6人	6人	3人

### 部位不明・詳細不明のコード使用割合



6

# 項目

- 1) DPC/PDPSのコーディング手順について
- 2) コーディングに係る事務部門の体制
- 3) 適切なコーディングに関する委員会について
- 4) コーディングマニュアル案に対する意見
- 5) その他(日常的に困っていることなど)

7



## 適切なコーディングに関する委員会

### 適切なコーディングに関する委員会 (※診療情報管理委員会)

平成24年度開催回数 12回

※当院では、適切なコーディングに関する委員会の機能は  
診療情報管理委員会が担っています。

所属部門	役職	人数
院長	院長	1人
診療情報管理室	主任 等	3人
診療部	診療科責任医師	3人
看護部	看護部次長	1人
診療技術部	診療技術部部長 診療技術部次長(薬剤師) 診療技術部次長(放射線技師)	3人
事務部	課長、主任 等	3人
計		14名

8

## 適切なコーディングに関する議題①

### 留意すべきICDコードについて(医療資源投入病名)

	2012年 4月	2012年 5月	2012年 6月	2012年 7月	2012年 8月	2012年 9月
退院数	258	273	277	280	276	258
部位不明・詳細不明のコード数	11	20	17	19	18	12
割合	4.26%	7.33%	6.14%	6.79%	6.52%	4.65%

	2012年 10月	2012年 11月	2012年 12月	2013年 1月	2013年 2月	2013年 3月
退院数	317	306	307	245	279	
部位不明・詳細不明のコード数	15	24	24	12	18	
割合	4.73%	7.84%	7.82%	4.90%	6.45%	

※外来死亡の症例は集計対象(退院していない転棟症例(子様式)は含まず。)

### 部位不明・詳細不明のコードの使用割合の報告

9

## 適切なコーディングに関する議題②

### 詳細不明・部位不明一覧の公表

医療資源を最も投入した 傷病名	ICD10 コード	ICD-10名称	症例数
ウイルス性髄膜炎	A879	ウイルス性髄膜炎・詳細不明	4
急性ウイルス性肝炎	B199	詳細不明のウイルス肝炎、詳細不明	1
うつ病	F329	うつ病エピソード、詳細不明	2
非器質性睡眠障害	F519	非器質性睡眠障害、詳細不明	2
細菌性髄膜炎	G009	細菌性髄膜炎、詳細不明	3
急性脊髄炎			1
脊髄炎	G049	脳炎、脊髄炎および脳脊髄炎、詳細不明	1
脳脊髄炎			1
てんかん	G409	てんかん、詳細不明	3
一過性脳虚血発作	G459	一過性脳虚血発作、詳細不明	10
多発性神経障害	G629	多発性ニューロパチー、詳細不明	1
脳髄膜炎	G969	中枢神経系の障害、詳細不明	1
心不全	I509	心不全、詳細不明	2
くも膜下出血	I609	くも膜下出血、詳細不明	4
延髄梗塞			2
小脳梗塞	I635	脳動脈の詳細不明の閉塞または狭窄による 脳梗塞 (※ラクナ・アテローム等で要記載)	2
脳幹梗塞			3
脳梗塞	I639	脳梗塞、詳細不明	5
下肢静脈血栓症	I803	下肢の静脈炎および血栓静脈炎、詳細不明	1
慢性胃炎	K295	慢性胃炎、詳細不明	3
潰瘍性大腸炎	K519	潰瘍性大腸炎、詳細不明	1
イレウス	K567	イレウス、詳細不明	2
肝性脳症	K729	肝不全、詳細不明	1
上部消化管出血	K922	胃腸出血、詳細不明	1
関節リウマチ・股関節	M0695	慢性関節リウマチ、詳細不明	1
母指関節症	M1994	関節症、詳細不明	1
膝関節内遊離体	M2349	膝関節内遊離体 (※部位コードが必要)	2
外側半月板障害	M2396	膝内障、詳細不明	1
頸椎炎	M4692	炎症性脊椎障害、詳細不明	1
頸椎圧迫骨折			1
頸椎脱臼骨折			1

詳細不明・  
部位不明の病名を集計

委員会報告(対策など協議)

- ・不適切な病名付けであったのか？
- ・他の適切な病名へ変更が可能か？  
など

医局会で報告

グループウェア  
による職員への  
回覧

### 部位不明・詳細不明のコードの使用例の周知

10

# 委員会外での主な取り組み

## •新人研修(4月)

- DPC/PDPSの概要
- 留意事項の説明(病名入力の留意点など)

## •医局会にて詳細不明・部位不明の情報共有

## •診療情報管理室・入院担当者ミーティング(第4金曜日16:00~17:00)

- 当院で発生しやすい詳細不明・部位不明の把握、問題の協議
- コーディングが難易症例の情報共有
- 提出データに基づくデータの再確認(誤ったコーディング内容の情報共有)
- 「DPCにおける高額な新規の医薬品」「疑義解釈資料」の情報共有



11

## 項 目

- 1) DPC/PDPSのコーディング手順について
- 2) コーディングに係る事務部門の体制
- 3) 適切なコーディングに関する委員会について
- 4) コーディングマニュアル案に対する意見
- 5) その他(日常的に困っていることなど)

12

# コーディングマニュアル案に対する意見

## 手術・処置等のコーディングガイドについて

病名やICDコーディングだけでなく、手術・処置等のコーディングの仕方にまで触れたガイドであれば、なお現場で使いやすい！？

例) E101-2(PET)の分岐はあるがE101-3(PET-CT)の分岐がない？

## 標準病名マスターとのICD不一致

◎10ページ目(DPC/PDPS傷病名コーディングガイド)

慢性膵炎が再燃した場合「慢性膵炎の急性増悪(K86.1)」として扱う。

◎MEDIS-DC標準病名マスターは

慢性膵炎急性増悪(K85)の急性膵炎のICDコード

多くの病院は、

電子カルテ内の  
標準病名マスターから病名を選択



ICD-10のみ変更が  
できない

13

## 項目

- 1) DPC/PDPSのコーディング手順について
- 2) コーディングに係る事務部門の体制
- 3) 適切なコーディングに関する委員会について
- 4) コーディングマニュアル案に対する意見
- 5) その他(日常的に困っていることなど)



## 標準病名マスターの未収載病名について①

### 例1) 悪性脳髄膜腫 (C70.0)

疾病、傷害および死因統計分類提要

C70	髄膜の悪性新生物
C700	髄膜の悪性新生物, 脳髄膜
C701	髄膜の悪性新生物, 脊髄膜
C709	髄膜の悪性新生物, 髄膜, 部位不明

標準病名マスター(収載されている髄膜腫)

悪性	選択可能な病名は下記のみ	良性	詳細に部位情報あり
C70.0	悪性脳室髄膜腫	D32.0	傍矢状洞髄膜腫
C70.0	テント上下悪性髄膜腫	D32.0	円蓋部髄膜腫
C70.0	肉腫性髄膜腫	D32.0	大脳鎌髄膜腫
C70.9	悪性髄膜腫 (↑部位不明・詳細不明コード)	D32.0	蝶形骨髄膜腫
		D32.0	鞍結節部髄膜腫・・・ 15

## 標準病名マスターの未収載病名について②

### 例2) 特発性大腿骨外顆骨壊死 (M87.05)

疾病、傷害および死因統計分類提要

M87	骨え<壊>死
M87.0	骨の特発性無菌<腐>性え<壊>死
M87.1	薬物による骨え<壊>死
M87.2	既往の外傷による骨え<壊>死
M87.3	その他の続発性骨え<壊>死
M87.8	その他の骨え<壊>死
M87.9	骨え<壊>死、詳細不明

標準病名マスター(収載されている大腿骨に関する骨壊死)

M87.05	特発性大腿骨内顆骨壊死
M87.95	大腿骨壊死 (←部位不明・詳細不明コード)

16



## 電子カルテにおけるICD-10のみ変更は困難

### 例1) 悪性脳髄膜腫 (C70.0)

C70.9 悪性髄膜腫



C70.0 悪性髄膜腫

※標準病名マスターでは悪性脳髄膜腫は、悪性髄膜腫の索引用語

### 例2) 特発性大腿骨外顆骨壊死 (M87.05)

特発性 &

M87.95 大腿骨壊死



M87.05 特発性大腿骨壊死

接頭語の部位等の詳細情報に合わせ  
電子カルテ内でICD-10が修正できるシステムが必要！？

17

## 標準病名マスターの未収載病名の対応

傷病名マスターに収載されていない病名を使用する場合は、未コード化傷病名コードを使用して、病名をワープロ入力することになります。

※社会保険診療報酬支払基金「レセプト電算処理システムに関するQ&A」より

当院では、

- 病名をワープロ入力(未コード化傷病名コード使用)は、、、
  - ・既に標準病名マスターに収載のある病名を安易に登録する可能性
  - ワープロ入力は原則使用禁止(該当がない場合、病名・ICD-10相談を診療情報管理室へ)
- 電子カルテ及び医事システムの病名マスターに未収載病名を登録は、、、
  - ・標準病名マスターの1回/3カ月の更新(100~300個あります追加・削除等)に伴う電子カルテのメンテナンスが自動で行えず、手作業が生じる、電子カルテ・医事システム双方で病名管理が必要になり困難
  - 現在当院では未収載病名のマスター登録は行っていません。今後の検討課題

電子カルテ及び医事システムにおける  
病名マスターのメンテナンス機能充実が必要

18